

今年度の学生代表

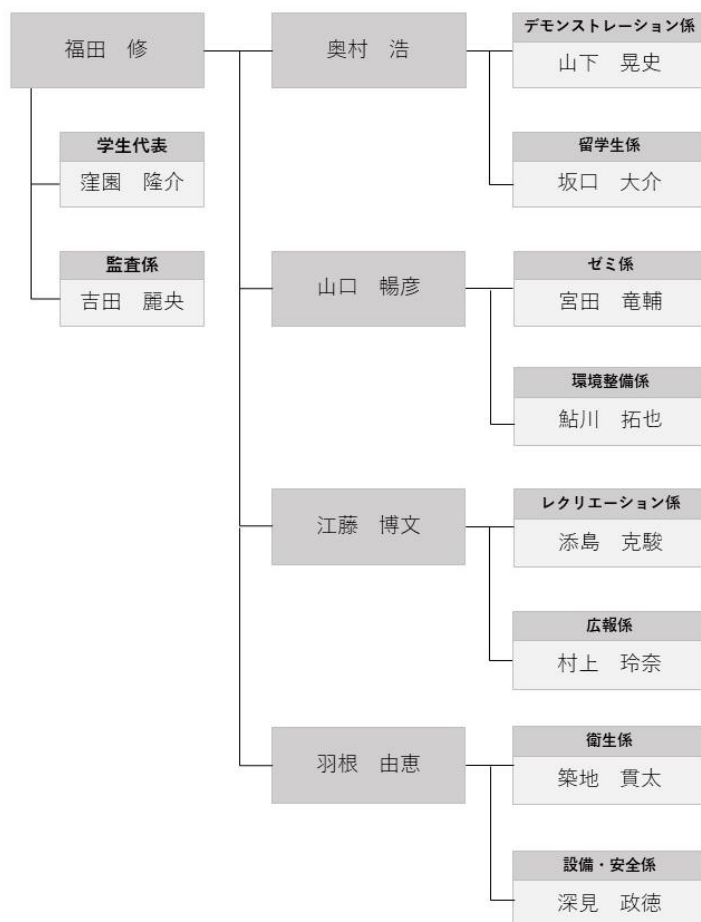
福田研究室 窪園隆介



皆さん、おうち時間いかがお過ごしですか。私は毎日B.ZのLIVEを見てテンションを高めています。さて、今年はコロナ禍の影響で通常の研究室活動を進めづらい状況ではありますが、私は研究室を「学生が主体となって盛り上げる研究室」にしたいと考えています。今年はその第一歩として、院生を中心にそれぞれ役割分担を行い、ゼミの運営や進行だけでなく、先生やスタッフ、学生間の交流の場も増やしていきたいと様々な計画を立てています。私は学生代表を務めることになりましたので、研究室活動で気になる事、こうしたいという要望があれば気軽に相談してください。全員が一丸となって協力しながら、メリハリのある研究室活動にしていきましょう。

今年度の研究室マネジメント組織について

今年度の研究室マネジメントは、以下の通りに行います。
(次頁に詳細事項を掲載しています。)



※敬称略

研究室マネジメント詳細一覧

以下は、各系の役割や活動内容です。
困ったときや相談事があるときは各担当者に問い合わせてください。

【係名】 担当:学籍番号 氏名(連絡先)

役割詳細

◎「どんなこと」を「どんなとき」に問い合わせる？

【学生代表】 担当:19704005 窪園隆介(19704005@edu.cc.saga-u.ac.jp)

話し合いの場での司会進行, 研究室活動報告の取りまとめ, 研究室メンバー全体の総サポート.

◎全体への連絡事項および研究室活動における要望があったとき.

【監査係】 担当:19704022 吉田麗央(19704022@edu.cc.saga-u.ac.jp)

研究生活を過ごしやすくするためのルール作りとその改善, スケジュール管理.

◎学校生活がよりよくなるアイデアがあるとき, 研究室の動きが分からないとき.

【デモンストレーション係】 担当:19704021 山下晃史(19704021@edu.cc.saga-u.ac.jp)

デモ充実化のための提案や段取りの考案. デモの指示出し.

◎他にいいと思うデモコンテンツのアイデアがあるとき.

【留学生係】 担当:19704006 坂口大介(19704006@edu.cc.saga-u.ac.jp)

外国人留学生とのコミュニケーションの促進, 留学生チューターの支援.

◎留学生と仲良くなりたいとき, 留学生のお手伝いがしたいとき.

【ゼミ係】 担当:20704012 宮田竜輔(20704012@edu.cc.saga-u.ac.jp)

全体ゼミの運営.

◎全体ゼミに関する分からないこと. 評価方法, 実施日, 参加グループ, スライド作成の決まり等.

【環境整備係】 担当:19704001 鮎川拓也(19704001@edu.cc.saga-u.ac.jp)

研究室内の清掃・物品整理のための設備の管理, レイアウト調整.

◎研究室内の環境における不満があるとき, 該当設備の改善や調整の提案.

【レクリエーション係】 担当:19704009 添島克駿(19704009@edu.cc.saga-u.ac.jp)

研究室メンバー間のコミュニケーション促進を目的としたレクリエーションの企画, 実施.

◎研究室メンバーと仲良くなりたいとき. 研究室メンバーでやってみたいレクリエーションがあるとき.

【広報係】 担当:19704017 村上玲奈(19704017@edu.cc.saga-u.ac.jp)

研究室活動に関する情報を研究室内外へ発信.

◎知りたい情報や広報誌に掲載してほしいことがあるとき.

【衛生係】 担当:20704007 築地貫太(20704007@edu.cc.saaga-u.ac.jp)

研究室内の衛生環境の整備・点検.

◎定期的な点検・整備. 研究室内の衛生環境に問題・不満を感じたとき.

【設備・安全係】 担当:19704014 深見政徳(19704014@edu.cc.saga-u.ac.jp)

研究室にある機材の管理, ネットワークの管理, 消耗品などの管理, 設備安全の見直し.

◎使いたい機材の所有者がわからないとき, 新しいネットワークを構築したいとき

研究室で使う消耗品が切れてしまったとき.

「自転車とビール」

筆者: 福田 修

Stay Homeがお題ということで直近について一つご紹介します。GWに3年くらい放置していた自転車の修理をしました。タイヤ、ブレーキ、チェーンなど... もはや新しく買った方が良さそうでしたが、たぶん、あれこれ弄るのが好きなのでしょう。最近では自転車で自然の中に出かけて行って、昼間からベランダで神泡サーバ(父の日にお勧め!)でビールを飲むのが週末のルーティンです。全然SHじゃないですね!?



「そこに本があるから」

筆者: 鮎川 拓也(山口研M2)

私の最近の家での過ごし方は積本の消化です。表紙買い、続編買い、作者買いのおかげで積みこまれた本たちをせっせと読み進めています。ところが最新刊を読もうと思ったら今までの内容を忘れていて、結局一から読み直す羽目になったり一向に減る気配が見えません。そんな私がオススメする本は、斜線堂有紀先生の「私が大好きな小説家を殺すまで」です。あまり長くない小説なので読書が苦手な方もぜひ読んでみてください。



自己紹介 ~新しい仲間編~

名前

Yannis BERROCAL

年齢

21

出身地

Toulouse(FRANCE)

趣味
好きなこと

Basketball, Reading, Electronics, Space Exploration and Aviation



日本で挑戦したいこと
楽しみにしていること

Going to Japan would be a unique experience for me. It is a country whose culture and values interest me enormously. The natural landscapes seem to be very diverse and make you want to be explored. In my opinion, Japan has high engineering skills and technologies and this is a great opportunity for me to acquire new knowledge. Japanese people are very kind people with a very rich history and I would like to learn more about them. I would like to improve my Japanese and learn as much as possible to get the most out of this trip.

研究室の学生へ一言

I am so happy that such a collaboration is possible. It is a unique opportunity that I hope will bring intellectual and cultural knowledge to both our institutions. I think it is wonderful to see that even during such a difficult period as the current pandemic we are able to carry out projects and share our knowledge even at more than 9500km. For the near future I hope that we will have the opportunity to come to Japan to carry out our common project and to be able to express to you once again all our gratitude for this collaboration.

自己紹介 ～新しい仲間編～

名前

Victorien PASTEUR

年齢

23

出身地

Béziers (FRANCE)



趣味
好きなこと

New technologies and scientific news, Grow the vines and make wine, Hikes, Experiments on giant sequoia trees, Traditional craft, Culture, and many others...

日本で挑戦したいこと
楽しみにしていること

I would like to discover another culture and landscapes from mine, by visiting Japan any new discovery will be interesting. And because a country is represented by its people I would like to interact as much as possible with Japanese people! Also I would like to say that Japan is well known for its high technologies skills and I wanted to learn from the best.

研究室の学生へ一言

I am glad to make an internship at Professor FUKUDA's laboratory, and I hope I will be able to meet them and exchange some view on different scientific topics! I've learnt a lot since we began our internship, and I am excited about coming to Japan to concretize what we have made by telework. Finally, I want to thank Professor FUKUDA for placing his trust in us.

※新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の状況が落ち着き次第来日し、
8月末までの滞在予定だそうです。

編集後記

皆さん、こんにちは。広報誌の総括を担当しています、福田研究室M2の村上です。今年度より、「研究室内における活動内容の理解」や「メンバー間のコミュニケーション促進」を目的として、広報誌を発行することになりました。将来的には、外部への情報発信も行っていきたいと考えています。今回は、記念すべき広報誌第一弾でありながらも、「学内立入禁止」や「全体ゼミのオンライン移行」といった壁が立ちはだかり、掲載予定だったものを変更するなど、波乱万丈な幕開けとなりました。

この広報誌では、研究室の活動記録や連絡事項、お役立ち情報(就職・進学 etc.)、テーマに沿ったコラム執筆など、幅広い情報をお届けできたらと思っています。まだまだ手探りな段階なので、どんな些細なアイデアでも、遠慮なく提案してください。これは広報誌に限らず、ゼミやレクリエーション、打ち上げなどすべての研究室活動でも同様です。皆さんのアイデアで、楽しい“研究室活動”を送っていきたくて考えています。ご協力よろしくお願いいたします。



アイデアは**コチラ**まで

お問い合わせは**コチラ**まで

19704017@edu.cc.saga-u.ac.jp (村上)